

～上映会のご案内～



私たちは原発についてもっと考える必要があるのではないのでしょうか？

東日本大震災以前には考えたことがなかったけれど、今こそ考える時ではないのでしょうか。

22 年前の映画「あしたが消える - どうして原発? -」が今の私たちに何を伝えようとしているのかを考えてみませんか。

- ◆日時 2011 年 12 月 18 日 (日) 午後 1 時 30 分開場
◆上映 午後 2 時～3 時
◆場所 一宮スポーツ文化センター 2 階第 1 研修室
◆参加費 500 円
◆申し込み 電話 0586-77-0654 090-5036-9707 平田
◆企画 平田恒男・平田和香

12 月の定例会

日程 平成 23 年 12 月 6 日 (日)
野外定例会 9:30 ~ 13:30



11 月の予定

- 1 日 (火) 会報「まごころ」発行 ミニデイサービス
3 日 (木) ふれあいサロン
6 日 (日) 定例会・ふれあいまつり
8 日 (火) ミニデイサービス 指定介護予防事業更新申請
9 日 (水) 理事会
10 日 (木) ふれあいサロン あいち福祉ネット理事会
15 日 (火) ミニデイサービス
17 日 (木) ふれあいサロン 児童デイ定例会事務局会議
22 日 (火) ミニデイサービス
24 日 (木) ふれあいサロン 児童デイ定例会
25 日 (金) サービス提供責任者会議
29 日 (火) ミニデイサービス



多機能椅子 10 脚購入しました

「23 年度大野良久記念老人福祉基金」を頂き、ミニデイの椅子を高機能椅子に入れ替えました。この椅子は高さや幅が調整できるようになっており、利用者の好みに合わせて座り心地の改善が期待されます。児童デイにも利用しております。



Table with columns for membership (会員数), municipal activities (市民事業), nursing insurance (介護保険), and residential care services (障害福祉サービス). Includes a row for August (8月) with various numerical data.

NPO 法人一宮まごころ

事業内容



まごころ

キャンパスをご存じですか?

Can (できる) ...自分の出来ることを出来る時間で
Nurse (看護する) ...働いていても、主婦の潜在的ナースでも「看護師が在宅に訪問して介護・看護をすること」

キャンパスは「看護や介護で疲れている人たちに、休める時間を持たせてあげたい」と志す訪問ボランティアナースの会です。

10 月 13 日 (木)、あいち福祉ネットの研修会「ターミナルケアに携わる看護師に学ぶ」でキャンパス名古屋支部の代表 富士恵美子氏のお話しを聞く機会がありました。

報道によると日本の世帯数 5195 万世帯のうち独居世帯は 32% 強の 1,600 万世帯を超えています。

富士さんが示された資料によれば、8 割以上の割合で在宅で最期を迎えたいと思う人は
本人 34% 家族 16%

在宅での看取りが成立しないと思う理由は

- 同居の場合
家族の介護体制が整わない 86%
家族の生活が犠牲となる 84%
独居の場合
常時医療ケアが必要となる 84%
経済的にケアが受けられない 79%

「人生という仕事が終わる時は家に帰ろう」と最後にのべられました。

安心して在宅で終末を迎えられるために、キャンパスの方たちの果たす役割はとて意義深いものがあり、その精神を介護に関わる私たちも見習いたいと思います。

特定非営利活動法人一宮まごころ

〒491-0041 一宮市文京 1 丁目 4-6
電話 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870
E-mail magokoro@plum.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.npo-magokoro.jp
NPO 法人まごころ児童デイ事業所
〒491-0023 一宮市赤見 4 丁目 2-4
電話 0586-25-2667 Fax 0586-25-2668
E-mail magokorojidou@plum.ocn.ne.jp



まごころ君とあそぶ幼児



～参加報告～
市民と企業の協働フェスタ in 一宮

10 月 30 日 (日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 木曾三川公園 138 タワーパーク イベント広場において一宮ロータリークラブ主催の『市民と企業の協働フェスタ in 一宮』が開催されました。展示ブースでは企業 (14 社) や市民団体 (21 団体) の活動説明、ステージではパネルディスカッションと団体の活動発表が行われました。

企業は社会貢献度を高めて市民との関わりを通じて自社のイメージアップや人材の育成を図り、市民は企業の資金力や管理能力等の支援が得られて活動の発展に繋がることを望んでいます。

あいにくの雨で人出は少なかったのですが、今回の試みから対等で具体的な協働事業に挑戦することがお互いに必要と思われました。市民と企業・団体の人たちとのふれあいが出来たことはとても有意義でした。